

令和5年度 秋期 システム監査技術者試験 解答例

午後Ⅰ試験

問1

出題趣旨	
カード情報の窃取や不正利用の手口は巧妙化しており、情報セキュリティ対策もそれに適したものにする必要がある。このため、非保持化を実施した EC サイトにおいても、新たな脅威への警戒と情報セキュリティ対策への継続的な取組が求められている。 本問では、EC サイトにおけるクレジットカード情報の保護を題材として、カード情報の漏えい対策を含めた情報セキュリティに関する知識、EC サイト運用に伴うリスクを識別する能力、及びコントロールの有効性を検証するために必要な監査証拠を含めて、適用すべき監査手続を選択する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	取り外し可能な記録媒体に画像データを移動して保存する。	
設問2	(i) カード情報保護対策	
	(ii) B 社に対して情報セキュリティ評価を実施し、A 社が定める要件を満たすかどうかを確認すること	
設問3	検知漏れが発生しやすい状態になり、遮断すべき不正なパケットを検知できずに通過させてしまう。	
設問4	“改ざん監視対象ファイルリスト”と Web サーバ内の監視対象ファイルのリストとの差異を確認した。	

問2

出題趣旨	
システム開発の生産性向上や納期の短縮を目的としてローコード／ノーコード開発を採用する組織が増えてきている。しかし、開発手法の標準化や管理ルールを明確に定めずに導入を進めると、あまり利用されないシステムが増えたり、開発手法や開発ツールが乱立して管理不能になったりするといったリスクがある。 本問では、ローコード／ノーコード開発ツールを利用したシステム開発を題材として、システム監査人として、開発手法の特性、長所・短所を理解し、開発業務を監査する場合の監査手続を設定する能力を問う。	

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	開発申請手続の適用によって利用部門の負担が増える可能性	
設問2	類似アプリの有無	
設問3	開発するアプリの規模が小さく難易度が低い場合	
設問4	権限を与えるべきでない利用者が本番環境のデータを参照できる。	
設問5	標準フォーマットを使用した設計ドキュメント作成が可能かどうかを営業部に確認していること	
設問6	取得した操作ログが改ざん・消去されないよう保護すること	

問3

出題趣旨
人材管理は企業における重要な業務であり，人材管理システムは大きな役割を担っている。企業活動のグローバル化に伴って，職務に基づいた人材管理への転換や，人的資本管理への対応などが進み，人材管理システムは，より重要になってきている。 本問では，人材管理システムを題材として，人材管理業務の有効かつ効率的な運用を目的として再構築されたシステムの有効活用とそれに伴って新たに生じた課題やリスクを理解し，システム監査を実施する能力を問う。

設問	解答例・解答の要点	備考
設問1	人事情報の更新が遅いため，異動後は権限のない情報を閲覧できる。	
設問2	上長の役職と氏名を入力する作業の迅速化を検討していること	
設問3	アップロード件数と“受講実績表”のデータ件数の照合作業があること	
設問4	追加資格について人事部が入力内容を確認した上で資格マスターに登録すること	
設問5	管理者が良い評価を得るために選定基準に適合しない者を登録してしまう。	
設問6	各職場で増えた作業も考慮して業務効率を算定していること	